

「国連は戦争の渦中に構想された機関であり、その第一の任務は平和と安全の追求でなくてはなりません。過去50年間、国連は世界戦争と核による人類の滅亡の防止に貢献してきました。残念なことに、国家間の紛争や国内紛争は今でも続いています。1945年から現在まで、2000万人が犠牲となって命を失いました。」

ビル・クリントン米大統領
1997年9月22日の総会演説

平和は夢ではない



国連のブルー・ヘルメット



1988年、国連の平和維持活動はノーベル平和賞が授与されました。国連がノーベル委員会から平和賞を受賞したのはこれで5度目になります。それ以前には国連難民高等弁務官（1954年と1981年）、国連児童基金（1965年）および国際労働機関（1969年）が受賞しています。

青いヘルメットをかぶった国連平和維持要員は、国連の和平努力を目に見える形で示す象徴であると言えます。平和維持要員は各国の軍隊から自発的に提供された兵士で構成され、公平な第三者としての役割を全うします。平和維持要員は、停戦の実現を助け、その維持をはかり、また、紛争当事者間の緩衝地帯となります。その存在は、外交経路を通じた紛争の平和的解決を可能にする手助けとなります。平和維持要員が現地での平和を維持している間に、国連の調停者は紛争当事者あるいは当事国の指導者と会談し、平和的解決の達成に努めます。

最近の平和維持活動は、単に平和を維持することに止まりません。現在では地雷の除去、道路や橋の補修、選挙の監視、

また国民の人権が尊重されているかを見守ることなどの活動も含まれます。

1948年以來、75万人を超える軍事・文民警察要員や数千人におよぶ文民が、40件を超える平和維持活動に参加してきました。任務遂行中に命を落とした人の数は、1500人近くに上ります。



国連の地雷除去要員。全世界の68カ国以上に埋設されている地雷によって毎年、少なくとも1万の人々が命を失い、その2倍の数の人々が負傷しています。1個の地雷は3ドルから10ドルで買えますが、その除去には300ドルから1000ドルがかかります。国連は地雷の生産、販売および使用を禁止する国際条約の採択を求めてきました。

「自由で公正な選挙」を求めるステッカーを掲げるナミビアの子供たち。長年にわたり、南アフリカからナミビアの独立を勝ち取る国際キャンペーンを主導してきた国連は、1989年の国民選挙の監視を行いました。これにより、ナミビアは1990年に独立を達成することができました。

